

平成 29 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
代表者名 代表取締役社長 鈴木 郷 史
(コード番号:4927 東証第一部)
問合せ先 取締役広報・IR担当 藤 井 彰
(TEL. 03-3563-5517)

特別損失の計上に関するお知らせ

当社は平成 28 年 12 月期第 4 四半期に、下記のとおり特別損失を計上いたしましたので、お知らせします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 特別損失の内容

当社の連結子会社である株式会社ポーラファルマ(社長：稲岡靖規、本社：東京都品川区、以下ポーラファルマ)に係る無形固定資産(その他)の減損損失 4,425 百万円を平成 28 年 12 月期第 4 四半期に計上いたします。

(2) 特別損失の計上理由

ポーラファルマは、平成 28 年 1 月に、グラクソ・スミスクライン株式会社が製造販売承認を取得した尋常性ざ瘡治療配合剤「デュアック®配合ゲル(以下デュアック)」の、日本における独占的なライセンス契約を締結し、販売権を取得しました。

国内市場においては、尋常性ざ瘡に対し医療機関へ受診する認識が欧米に比べて低く、新たな治療法をより多くの患者さんにお知らせすべく、ポーラファルマは皮膚科を中心に積極的な情報提供活動に取り組んでまいりました。

しかしながら、前後に上市された新薬との競争環境激化や、急性炎症期における推奨薬認知の遅れ、流通面に対する営業力不足などにより、直近のデュアックの業績は販売権取得時の想定を下回る結果となっています。

こうした状況下で、平成 29 年からのデュアックの販売計画を慎重に見直し、同事業が生み出す将来キャッシュ・フローを精査し、これをもとに減損テストを実施した結果、当該減損損失を計上することとなりました。

(3) 今後の取組み

当初計画を下回った要因を、他社新薬との競争環境激化、急性炎症期における推奨薬認知の遅れ、流通面に対する営業力不足と捉え、以下の対応を図ってまいります。

- 1) 外部の製薬企業から登用した経験豊富な人材を営業の中心に据え、営業体制を抜本的に見直した上で、営業力向上のために外部のトレーニングシステムを導入するなど、MR の対応力を強化。
- 2) 高度な医学・科学的な知識を持つ MSL (メディカル・サイエンス・リエゾン) による専任部門を新設し、MR 活動だけではカバーしきれなかったキーオピニオンリーダーに対して、デュアックの情報をより多面的に提供することで、製品価値・推奨薬認知を向上。
- 3) より多くの施設にお届けするために、対象施設を再度設定しなおし、卸との連携を強めて従来よりも広域に活動。

(4) 業績への影響

上記の特別損失 4,425 百万円を、平成 28 年 12 月期第 4 四半期に計上しております。

以 上